

高齢者インフルエンザワクチンの接種にあたって

インフルエンザは、毎年冬になると流行を繰り返します。通常の「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。

また、気管支炎や肺炎などを併発しやすく、重症化することが多いのもインフルエンザの特徴です。

インフルエンザワクチン接種は、重症化の予防に一定の効果が認められていますので、積極的なワクチン接種をお勧めします。

【接種を受けるとき】

接種にあたり、健康状態をよく把握する必要があります。予診票は正確にご記入ください。

もし、普段と変わったことがあった場合には、問診・診察の際に先生にご相談ください。

(当日の体温が普段より高めである場合など)

【接種を受けることが適当でない方】

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種をさけてください。

- 1 明らかに発熱している方（通常37.5℃以上の場合）
- 2 重篤な急性疾患にかかっている方
- 3 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方
- 4 前回の予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方
- 5 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

【接種の判断を行うに際し、注意を必要とする方】

健康状態及び体質を考慮して、次のいずれかに該当すると認められた場合には、注意して接種を受ける必要があります。（※接種医に、ご相談ください。）

- 1 心臓血管系疾患・腎臓疾患・肝臓疾患・血液疾患等の基礎疾患を有する方
- 2 過去にけいれんの既往のある方
- 3 過去に免疫不全と診断された方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 4 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する方
- 5 本剤の成分又は鶏卵・鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーを呈するおそれのある方
- 6 接種当日の体温が通常より高い場合は、医師にご相談ください。

【ワクチン接種後の注意事項】

接種をした部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだり、発熱などが起きることがあります。

もし、異常反応や体調の変化さらに高熱・けいれん等の症状があらわれた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

接種後は、入浴しても差し支えありませんが、接種部位を清潔に保ってください。（ただし、注射したところをこすらないでください。）

また、接種当日は激しい運動を避けてください。

【お問い合わせ】 長岡市福祉保健部保健医療課感染症対策室
長岡市幸町2丁目1番1号 ☎39-2383

(※平日のみ 8時30分～17時15分まで)